

インバランス収支計算書

2018年4月1日から
2019年3月31日まで

(単位 百万円)

費用の部		収益の部	
項目	金額	項目	金額
営業費用	194,543	営業収益	192,972
地帯間購入電源費	61,479	地帯間販売電源料	62,931
他社購入電源費	132,272	他社販売電源料	16,904
(インバランス対応取引費用)	(△ 4,140)	(インバランス対応取引収益)	(-)
(インバランスの買取りに係る費用)	(119,507)	託送収益	112,438
社内取引費用	792	接続供給託送収益	112,438
(インバランス対応相当額取引費用)	(-)	(インバランスの供給に係る収益)	(112,438)
(インバランスの買取相当額取引費用)	(792)	(インバランスリスク料に係る収益)	(526)
		社内取引収益	697
		(インバランス対応相当額取引収益)	(-)
		(インバランスの供給相当額取引収益)	(697)
		(インバランスリスク料相当額取引収益)	(3)
営業損失	△ 1,571		

注1：インバランス収支計算書の算定

インバランスの供給に係る電力量及びインバランスの買取りに係る電力量については、集約期間における三十分を単位とした同一の時間帯において、バランシンググループ毎の電力量を積み上げる方法で算出している。

財務諸表作成時点で未確定のインバランス料金に係る精算額は見積値により計上している。なお、2018年度における確定額は、営業費用202,746百万円(地帯間購入電源費61,479百万円、他社購入電源費140,474百万円、社内取引費用792百万円)及び営業収益200,729百万円(地帯間販売電源料62,931百万円、他社販売電源料16,904百万円、託送収益120,195百万円、社内取引収益697百万円)である。

注2：インバランス収支計算書におけるインバランスの供給に係る電力量は9,904百万kWh、インバランスの買取りに係る電力量は11,514百万kWhである。

注3：2018年度におけるインバランスの供給に係る電力量の確定値は10,733百万kWh、インバランスの買取りに係る電力量の確定値は12,339百万kWhである。

注4：2018年10月より連系線利用ルールが間接オークションに変更された。これに伴って発生した取引については、他社購入電源費16,904百万円と他社販売電源料16,904百万円で計上している。